

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成22年2月12日 (2010.2.12)

【公表番号】特表2009-524772(P2009-524772A)

【公表日】平成21年7月2日 (2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-026

【出願番号】特願2008-552311(P2008-552311)

【国際特許分類】

F 0 2 G 1/043 (2006.01)

F 0 1 B 11/00 (2006.01)

F 0 1 B 1/02 (2006.01)

F 0 1 B 7/02 (2006.01)

F 0 2 B 71/04 (2006.01)

F 0 2 G 1/045 (2006.01)

【F I】

F 0 2 G 1/043 B

F 0 1 B 11/00

F 0 1 B 1/02

F 0 1 B 7/02

F 0 2 B 71/04

F 0 2 G 1/045 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月16日 (2009.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

図 3 B に示したように、2 つのピストン 3 0 3 および 3 0 4 のそれぞれはプレートの形をしている。各プレート 3 0 3 および 3 0 4 には、他の端部で永久磁石プレート 3 0 5 および 3 0 6 に取り付けられたシャフト 3 0 7 および 3 0 8 が、中央に垂直に取り付けられる。永久磁石プレート 3 0 5 および 3 0 6 は、その内部に、鉄、適切なグレードの鋼などの磁路材料 (magnetic path material) と一緒に適切に配置された永久磁石を収容する。永久磁石および磁路材料は、永久磁石 3 0 5 および 3 0 6 の外側縁部から放射する磁束を生成するように構成され、磁束は、シリンダー 3 0 1 を取り囲む駆動巻線 3 0 9 および 3 1 0 を横切る (図 3 A)。シリンダー 3 0 1 は非磁性材料から作られ、複数の非磁性材料を用いてシリンダー 3 0 1 を構成することができる。例えば、熱流を必要とする 3 1 3 および 3 1 4 などの領域にアルミニウムなどの材料を用いることができ、セラミックまたはファイバーグラスを、熱流を必要としない 3 1 7 などの領域に用いることができる。磁路材料により作られた磁場戻り路 (magnetic field return paths) 3 1 1 および 3 1 2 が駆動巻線 3 0 9 および 3 1 0 を取り囲む。